

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解		
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)		
				レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	定期テスト(資料の読み取り) レポート課題 資料の読み取り 学習の振り返り	定期テスト		
「討論・発表」、「資料の読み取り」および「学習の振り返り」については、授業中の主観的な印象だけで評価してしまわないよう、必ずワークシートなどにまとめたものを提出させ、評価規準(評価の観点)ごとの評価基準(評価の目安)にそって客観的に評価できるように留意する。									
第1編第1章	1 球体としての地球	4月	2	・地球上の水陸分布に対する関心や、季節や時差といった球面上の地球の特徴に対する関心が高まっている。	・時差が地球の自転によって生じる仕組み、季節が地球の公転によって生じる仕組みを適切に表現している。	・地球儀を用いて、地球上の任意の地点の経緯度を表したり、大陸間の方位や距離を示したりする方法を身につけている。	・時差や季節が生じる仕組みと、地球儀と地図の特徴の違いについて理解し、それらの知識を身につけている。	○地球上の水陸分布、経緯線を踏まえた位置、時差や季節の生じるメカニズムについて考察することで、球面状の世界について把握する。 ○地球儀や地図を用いて大陸間の方位や距離、位置関係について考察することで、球体としての地球の姿を把握する。 ○経線に着目し、時差の仕組みやそれについての各国の対応について考察することで、時間の概念について把握する。	(活動例) ・時差や季節が生じる仕組みを表現する。 地球上の任意の地点の位置関係を表現する。
第1編第1章	2 地理情報と地図	4月	3	・国内外の各時代の世界地図を通し、当時の人々の世界観に対する関心が高まっている。	・情報通信技術の発達で地図表現に具体的にどのような影響をもたらしたのかを考察している。	・使用や表現の目的に応じ、適切な世界地図の投影法を選択する方法を身につけている。	・さまざまな投影法で描かれた世界地図があることや、それぞれの投影法の長所と短所を理解している。	○地図の有用性を把握した上で、情報通信技術の発達で地図表現に具体的にどのような影響をもたらしたのかを理解する。 ○国内外の各時代の世界地図を取り上げ、その特徴について考察することで、当時の人々の世界観を把握する。 ○世界地図は球体を平面にしているゆえに歪みが生じ、そこからさまざまな投影法が開発されてきたことを理解する。	(活動例) ・さまざまな投影法で描かれた世界地図の長所および短所と、それぞれの投影法に適する使用・表現の目的とを関連づけて説明する。
第1編第1章	3 地理情報を地図化する	4月	1	・地理情報が表現された主題図を通し、地図への関心が高まり、さまざまな地図から地域の特徴を意欲的に読み取ろうとしている。	・地域の特徴を理解する手段として地形図のルールと読図方法を身につけ、読み取った内容を表現している。	・統計資料等をもとにさまざまな種類の主題図を作成したり、主題図の読み取りを行ったりすることで地理的事象を考察する方法を身につける。	・地図には一般図と主題図があることを理解している。さらに、一般図である地形図の読図方法と、目的に応じてさまざまな種類の主題図の表現方法があることを理解している。	○地図は地理情報が表現されたものであること、表現方法によって一般図と主題図に分かれることを理解する。 ○統計資料等をもとにさまざまな種類の主題図を作成し、その読み取りを行うことで地理的事象を考察するための技能を身につける。	(活動例) ・地形図や主題図から読み取った内容を表現する。
第1編第2章	地図の活用と地域調査	4月	2	・地域調査への関心が高まり、地形図の読図や諸統計の収集を意欲的に行っている。	・調査の目的にしたがって、適切な資料を収集し、その資料をもとに考察を行っている。	・地形図や諸統計を読み取って仮説を設定し、調査計画に反映している。	・地域調査の一連の流れを理解し、地形図や諸資料の活用方法を理解している。	○地域調査の一連の流れを理解し、学校周辺地域を事例に調査計画の立案、調査、調査結果の発表をする方法を身につける。 ○景観写真や地図から地域の特性をとらえる方法を身につける。 ○地域の特徴を理解する手段として地形図のルールと読図方法を身につける。	(活動例) ・調査結果を分析・考察して報告書を作成したり、発表したりする。
第2編第1章	1 世界の地形	5月	8	・生活環境の基盤となる地形の重要性や、地球表面の起伏の状態とその形成要因について関心が高まっている。	・世界の地形について、その成因を分類して考察している。 ・小地形の形成過程を考察し、その小地形の特徴と人間生活との関係を表現している。	・任意の地域のさまざまな地図や写真などの資料を通し、その地域の地形の特徴と成因を読み取る方法を身につけている。 ・地形図の読図を通して、各種地形の特徴を読み取る方法を身につけている。	・世界の大地形の分布の特徴についてプレートテクトニクスとの関わりから理解している。 ・大地形・小地形の特徴とその形成過程とともに、人間生活との関係を理解している。 ・地震・津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害について理解している。	○生活環境の基盤となる地形の重要性、地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解を深める。 ○世界の大地形の分布の特徴についてプレートテクトニクスとの関わりから理解を深める。 ○安定大陸の特徴と人間生活との関係について平野と山地の側面から理解を深める。 ○変動帯の特徴とその形成をプレート運動との関係からとらえるとともに、人間生活との関係についても言及する。 ○変動帯に見られる小地形の特徴とその形成過程について理解を深めるとともに、人間生活との関係についても言及する。 ○海岸地形やサンゴ礁地形の特徴とその形成過程について理解を深めるとともに、人間生活との関係についても言及する。 ○氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の特徴とその形成過程について理解を深めるとともに、人間生活との関係についても言及する。 ○地震・津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害について理解を深める。 ○授業で扱ってきた各種地形の特徴について地形図の読図を通じて再確認する。	(活動例) ・各種地形の形成過程を表現する。 ・地形図の読図を通して各種地形の特徴を表現する。

第2編第1章	2 世界の気候	5月	8	<ul style="list-style-type: none"> 世界に分布するさまざまな気候について、各気候の成因を意欲的に考察しようとしている。 人間の生活・文化と気候との関係に関心が高まり、自然災害に対しても積極的な課題意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域によって生じる気候の違いとその要因を気候因子から説明している。 ある地点の雨温図やハイサーグラフについてその特徴を読み取り、それらが世界のどの地点のものかを判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 雨温図やハイサーグラフを正確に読み取る。さらに、各気候区の種類基準をもとに、与えられた資料から任意の地点の気候区を判別する方法を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界のさまざまな気候について、それぞれの気候の気候要素の特徴を気候因子との関係から理解し、気候帯の分布と植生・土壌との対応関係を知識として身につけている。 それぞれの気候下における人間の生活・文化の特徴を理解している。 異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害と被害の状況について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 気候環境を形成する大気の大循環についての理解を前提に、地域によって生じる気候の違いとその要因について言及する。 世界規模での各気候帯の分布の特徴を踏まえた上で、各気候帯と植生や土壌との対応関係について理解を深める。 各気候区の種類基準への理解を前提に雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて各気候区への理解を深める。 熱帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、環境問題について多面的に理解を深める。 乾燥帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、環境問題について多面的に理解を深める。 温帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、環境問題について多面的に理解を深める。 亜寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、環境問題について多面的に理解を深める。 寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、環境問題について多面的に理解を深める。 高山気候の特徴やそこでの生活・文化について多面的に理解を深める。 異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害と被害の状況についての理解を深める。 	(活動例) <ul style="list-style-type: none"> 世界に分布するさまざまな気候について、それぞれの気候の成因を説明する。 異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害と被害の状況について説明する。
第2編第1章	3 日本の自然環境	6月	2	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形の特徴や日本でこれまでに発生した火山・地震・津波の各自然災害について関心が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形や気候の特色を考察し、日本で発生しやすい自然災害やこれからの防災の在り方を多面的・多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真やグラフなどの諸資料から、日本の地形と気候、自然災害の特徴を読み取る方法を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形の特徴や日本でこれまでに発生した火山・地震・津波の各自然災害について理解している。 日本の気候の特徴や日本でこれまでに発生した気象災害について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形の特徴や日本でこれまでに発生した火山・地震・津波の各自然災害について理解を深める。 日本の気候の特徴や日本でこれまでに発生した気象災害について理解を深める。 	(活動例) <ul style="list-style-type: none"> 日本でこれまでに発生した自然災害を分類し、その背景にある日本の自然環境の特徴を説明する。
第2編第1章	4 世界の環境問題	6月	4	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境をめぐる国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について関心が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化やオゾン層の破壊といった環境問題発生メカニズムと、その影響を考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球規模で起こるさまざまな環境問題の背景・要因について、その地域の特徴を読み取る方法を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球規模で起こるさまざまな環境問題の背景・要因とそれによってもたらされる影響について多面的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題の特徴について理解を深める。 地球規模で起こるさまざまな環境問題の背景・要因とそれによってもたらされる影響について多面的に理解を深める。 地球環境をめぐる国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解を深める。 	(活動例) <ul style="list-style-type: none"> 地球各地で起きている環境問題を、それぞれ説明する。 さまざまな環境問題の背景・要因とその対策を示す。
第2編第2章	1 産業の発展と産業地域	6月	1	<ul style="list-style-type: none"> 産業構成および産業立地の変化に関心を持ち、さらに近年の情報社会の到来や地域間の結びつきの変化が与える影響にも関心が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本と世界各国の産業構造の変化について、その背景を考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や世界各国の産業構造やその変化を、表やグラフなどの図を用いて表現する方法を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業の分類について理解した上で、産業構成の歴史的变化と、それに伴う産業立地の変化について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業の歴史的变化とその社会的背景について理解を深める。 情報社会の進展に伴う産業や生活への影響について理解を深める。 産業立地によってもたらされる地域構造の変化と地域間の結びつきの特徴について理解を深める。 日本の貿易構造の変化、日本と世界各国の産業構造の変化について理解を深める。 	(活動例) <ul style="list-style-type: none"> 日本や世界各国の産業構造の変化について、国ごとの特徴を整理して表現する。
第2編第2章	2 農林水産業	6月	6	<ul style="list-style-type: none"> 農業と自然との関係や、歴史的な変革の過程に関心を持ち、近年の農産物の貿易拡大によって生じる諸問題についても多面的・多角的な問題意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業立地の成立要因について自然、社会、市場との距離、経済水準、国家政策の側面から考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業の生産や貿易に関する諸資料について、その特徴や問題点を適切に読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の農林水産業の特色、分布、貿易の背景について自然、社会、市場との距離、経済水準、国家政策の側面から理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業立地の成立要因について自然、社会、市場との距離、経済水準、国家政策の側面から理解を深める。 農業の発展過程とその社会的背景について3つの時代に区分して理解を深める。 産業化した現代農業の特色についてフードシステムの観点から理解を深める。 グローバル化に伴う農業地域の変化の状況についてアメリカ、EU、アジアを例に理解する。 世界の農産物流通の特徴について小麦、米、肉類、野菜を例に理解を深める。 日本の農産物輸入自由化に伴う食料自給率の低下によって引き起こされる問題点について理解する。 農産物の貿易拡大によって生じる諸問題について多面的・多角的に理解を深める。 森林資源の分布と役割ならびに林業の現状について理解を深める。 水産業の特色、水産資源の分布、水産物貿易の現状について理解を深める。 日本の農林水産業の変遷について理解を深める。 	(活動例) <ul style="list-style-type: none"> 世界の農林水産業の特色、分布、貿易の背景について説明する。 世界の農林水産業の諸資料を読み取り、表現する。

第2編第2章	3 食料問題	7月	2	・食料の供給・生産・流通における地域差に関心を持ち、その背景を追究している。	・食料の供給・生産・流通における地域差が生じる背景を考察している。	・食料生産および消費に関する諸資料から、地域ごとの特徴と問題点を読み取っている。	・食料の供給・生産・流通における地域差とその問題点を理解し、食料問題の解決に向けた取り組みに関する知識を身につけている。	○食料の供給・生産・流通における地域差を地球的視野から大観する。 ○緑の革命や遺伝子組み換え食品といった食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状とその問題点について理解を深める。 ○食料不足の解決へ向けた国際協力の現状と課題、今後の展望について理解を深める。	(活動例) ・食料生産および消費に関する諸資料から、地域ごとの特徴と問題点を読み取り表現する。
第2編第2章	4 エネルギーと鉱産資源	7月	3	・暮らしを支えるエネルギーの重要性とともに、エネルギー生産と消費の偏在性に伴い生じる課題など、エネルギー問題全般に対する関心を深めている。	・エネルギー消費の偏りについて、その背景を考察している。 ・石油・石炭・天然ガス・鉄鉱石の輸出国と輸入国について、それぞれの国の特徴から貿易の背景を考察している。	・さまざまな資源の生産や分布、消費に関する統計を読み取り、資源ごとにその特徴を捉えている。	・さまざまな資源の分布と消費地を知り、それぞれの資源の貿易やその背景を理解している。	○暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の高まりによって生じる問題点について理解を深める。 ○石油、石炭などの化石燃料を事例にエネルギー生産と消費の偏在性やそれに伴い生じる課題について理解を深める。 ○原子力発電が石油代替エネルギーの筆頭にあげられる理由とともに、原発がもたらす問題点について理解を深める。 ○工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について鉄鉱石と非鉄金属のそれぞれにおいて理解を深める。	(活動例) ・さまざまな資源の生産や分布、消費に関する統計を読み取り、資源ごとの特徴を説明する。 ・エネルギーや資源の消費の偏りについて、その背景を説明する。
第2編第2章	5 資源・エネルギー問題	7月	2	・化石燃料の大量消費に伴って生じる資源の枯渇や地球温暖化などの環境問題についてさまざまな観点から関心を持ち、課題解決への取り組みに積極的な姿勢を見せている。	・地球温暖化などの環境問題をさまざまな観点から考察し、その背景を表現している。	・エネルギー消費の現状および変化を示した諸資料をもとに、国もしくは地域ごとの特徴や問題点を読み取っている。	・化石燃料の大量消費に伴って生じる資源の枯渇や地球温暖化などの環境問題について、その背景を理解している。	○化石燃料の大量消費に伴って生じる資源の枯渇や地球温暖化などの環境問題についてさまざまな観点から理解を深める。 ○鉱産資源の枯渇や地球温暖化に対処するためのエネルギー政策の取り組みについてさまざまな側面から理解を深める。	(活動例) ・地球温暖化などの環境問題の背景を説明する。 ・エネルギー消費の現状及び変化について、国もしくは地域ごとの特徴を表現する。
第2編第2章	6 工業の立地と工業地域の変容	9月	9	・工業立地に影響を及ぼすさまざまな自然条件や社会条件について関心が高まっている。 ・産業によって異なる立地の特徴や、グローバル化する工業の背景について関心が高まっている。	・工業立地に影響を及ぼすさまざまな自然条件や社会条件を考察している。さらに、現在までの工業立地の変化要因とそれによって生じる問題点についても考察している。	・工業の生産や貿易に関する諸資料について、先進国と発展途上国、国際分業といった観点から、その特徴や問題点を適切に読み取っている。	・工業立地の類型とそれぞれの立地の背景を理解している。 ・先進国と発展途上国それぞれにおける産業の集積の特徴を理解し、国際分業の変化とそれに伴う国際競争の激化についても理解している。	○工業立地の条件がどのように類型化されるのか理解を深めるとともに、立地の変化要因とそれによって生じる問題点について考える。 ○先進国と東・東南アジア、BRICSにおける工業地域の分布とその変化について理解を深め、三極構造を見いだす。 ○自動車工業とエレクトロニクス産業を例に多国籍企業による工業立地の特徴について理解を深める。 ○先進国と発展途上国それぞれにおける新しい産業の集積の特徴について理解を深める。 ○工業における国際分業の変化とそれに伴う国際競争の激化について理解を深める。	(活動例) ・工業立地に影響を及ぼすさまざまな自然条件や社会条件を明らかにする。 ・世界の工業の諸資料を読み取り表現する。
第2編第2章	7 第三次産業と交通・通信	9月	2	・第三次産業の特徴や変化について関心が高まっている。	・第三次産業の近年の動向と、都市の発展や消費生活とを結びつけて多面的・多角的に考察している。	・貨物輸送における輸送手段の違いに関する統計資料をもとに、国ごとの特徴やその背景を適切に読み取っている。	・サービス産業や流通産業の特徴や変化について理解している。 ・交通や情報通信の特徴や変化について理解している。	○サービス産業の特徴や変化について理解を深める。 ○交通手段や情報通信の特徴や変化について理解を深める。	(活動例) ・日本における宅配業の推移を、国内の消費生活の変化と関連付けて読み取り表現する。
第2編第2章	8 消費と観光	9月	3	・先進国と発展途上国の消費行動の特徴や、余暇行動の地域差に関心を持ち、その背景を追究している。 ・自動車やインターネットの普及が行動空間を変化させ、消費関連産業の立地に影響を与えていることに関心が高まっている。	・先進国と発展途上国の消費行動の特徴や、余暇行動の地域差に影響を与えている背景を考察している。	・消費行動や余暇行動に関する諸資料をもとに、国ごとの特徴やその背景を読み取っている。	・先進国と発展途上国の消費行動の特徴や、余暇行動の地域差の背景を理解している。 ・自動車やインターネットの普及が行動空間を変化させ、消費関連産業の立地に影響を与えていることを理解している。	○先進国と発展途上国の消費行動の特徴について理解を深める。 ○人々の日常の活動から行動空間を抽出し、消費活動の特性について理解を深める。 ○IT化の進展に伴う行動空間の理解を深める。 ○社会状況の変化によって消費者サービスの多様化が引き起こされるとともに、関連産業の立地が変化し、商圏が再編されることを理解する。 ○余暇行動が拡大していった社会的背景について多面的・多角的に理解を深める。 ○余暇行動の地域差についてヨーロッパと日本とを比較しながら、その相違点について理解を深める。 ○ヨーロッパと日本の余暇行動の最近の動向について具体例をあげながら理解を深める。	(活動例) ・消費行動や余暇行動に関する諸資料をもとに、国ごとの特徴やその背景を読み取り表現する。
第2編第2章	9 貿易と経済機構	9月	3	・貿易の拡大と経済統合の近年の動向について関心が高まっている。	・経済統合や二国間協定の動向と課題を多面的・多角的に考察し、整理して表現している。	・貿易について、その変化や国ごとの特徴を諸資料から読み取り、その背景を明らかにしている。	・自由貿易体制が構築された背景やそれに伴い生じた国際分業体制の特徴について、日本の貿易の特徴と抱えている課題を絡めて理解している。	○自由貿易体制が構築された背景やそれに伴い生じた国際分業体制の特徴について理解を深める。 ○日本の貿易の特徴と抱えている課題について理解を深める。	(活動例) ・貿易の変化や国ごとの特徴を諸資料から読み取り表現する。

第2編第3章	1 人口	10月	3	・世界の人口分布と人口推移およびそれぞれの地域が抱える人口問題について関心が高まっている。	・人口ピラミッドを主とする人口の諸資料から、国ごとの特徴と問題点を考察し、これらの国々を類型化して整理している。	・世界の人口分布や人口推移および人口ピラミッドなどの諸資料から、国もしくは地域ごとの特徴と問題点を読み取っている。	・世界の人口分布と人口推移および人口動態の特徴を理解している。 ・人口移動の特徴とその社会的背景を理解している。	○世界の人口分布と人口推移の現状について地球的視野から大観する。 ○人口動態の推移について理解を深めるとともに、各国の置かれた社会状況を読み解く手段としての人口ピラミッドの有効性に気づく。 ○地球規模での人口移動の変遷について歴史的背景から理解を深める。 ○労働者と難民を事例に地球規模での人口移動の特徴とその社会的背景について理解を深める。	(活動例) ・世界の人口分布や人口推移および人口ピラミッドなどの諸資料から、国もしくは地域ごとの特徴と問題点を読み取り整理する。
第2編第3章	2 人口問題	10月	2	・発展途上国と、日本を含む先進国それぞれの人口問題に関心を持ち、課題に対する取り組みにも関心が高まっている。	・発展途上国と先進国がそれぞれ抱える人口問題の違いに気づき、その背景をそれぞれ考察している。	・人口爆発、少子高齢化などの諸問題を、人口に関する諸統計から正確に読み取っている。	・発展途上国が抱える人口爆発の要因とそれによって生じる社会問題、先進国が抱える少子高齢化の社会的背景とそれによって生じる諸問題とともに、それぞれの問題解決に向けた取り組みを理解している。	○発展途上国が抱える人口爆発の要因とそれによって生じる社会問題、解決へ向けての課題について理解を深める。 ○先進国の少子高齢化とその社会的背景、それによってもたらされる諸問題、それらを克服する取り組みについて理解を深める。	(活動例) ・人口爆発、少子高齢化などの諸問題を、人口に関する諸統計から読み取り表現する。
第2編第3章	3 都市・村落	10月	6	・都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や、都市の内部構造について関心が高まっている。 ・村落の立地と自然条件の関係について関心が高まっている。	・都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や、都市の内部構造を表現している。 ・村落の形態および村落の立地と自然条件の関係について考察している。	・世界や日本の都市に関する諸統計から、それぞれの都市の特徴を読み取っている。 ・村落の形態や立地条件を地形図から読み取っている。	・都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や、都市の内部構造について理解している。 ・村落の形態および村落の立地と自然条件の関係について理解している。	○都市の発達や大都市圏の形成過程について多面的に理解を深める。 ○都市システムが形成される背景について都市の階層性との関わりから理解を深める。 ○複数の国々を取り上げ、都市システムの特徴について比較することで、各国間の相違点について理解する。 ○経済、航空交通、文化、芸術などを指標に世界規模で都市システムが形成されていることを理解する。 ○大都市圏の都市構造の特徴について実在の都市の状況を踏まえながら理解を深める。 ○大都市圏の構造の変化について成長・衰退・再生の観点から理解を深める。 ○村落の機能とその立地要因について自然条件との関わりから理解を深める。 ○村落の形態の特徴や成立条件についていくつかの具体的事例を踏まえながら理解を深める。 ○近年の村落の変化の状況とそれをもたらす社会的背景について理解を深める。 ○日本の都市と農村が抱える問題について理解を深める。	(活動例) ・都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や、都市の内部構造を表現している。 ・村落の形態や立地条件を地形図から読み取り表現する。
第2編第3章	4 居住・都市問題	10月	2	・発展途上国と先進国それぞれの居住・都市問題に関心を持ち、課題に対する取り組みにも関心が高まっている。	・発展途上国と先進国がそれぞれ抱える居住・都市問題の違いに気づき、その背景をそれぞれ考察している。	・発展途上国と先進国がそれぞれ抱える居住・都市問題の現状とその背景を、諸資料や写真などから読み取っている。	・発展途上国における居住・都市問題について多面的・多角的に理解している。 ・先進国における居住・都市問題について、その社会的背景や改善へ向けた取り組みについて理解している。	○発展途上国における都市化の過程とそれによって生じる居住・都市問題について多面的・多角的に理解を深める。 ○先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて理解を深める。	(活動例) ・発展途上国と先進国がそれぞれ抱える居住・都市問題の現状とその背景を説明する。
第2編第4章	1 生活文化	10月	4	・衣食住を中心とする文化について、各地域の差異に関心が高まっている。	・衣食住を中心とする文化について、各地域に差異があることを知り、文化と自然環境との関係を考察している。	・世界のさまざまな地域の生活を写した画像から、世界各地の文化の特徴をそれぞれ読み取っている。	・衣食住を中心とする文化の地域性とその差異について、自然環境との関係から理解している。	○文化についての定義を踏まえた上で、文化の差異と融合、各地域における自然環境との関係によって多様性がもたらされることを理解する。 ○生活文化の地域性による相違について各地域における伝統的な生業形態との関わりから理解を深める。 ○衣服を軸に、現代世界における文化の多様性について理解する。 ○食生活を軸に、現代世界における文化の多様性について理解する。 ○住居を軸に、現代世界における文化の多様性について理解する。	(活動例) ・世界のさまざまな地域の生活と自然環境との関係を説明する。
第2編第4章	2 民族・言語・宗教	11月	2	・言語と宗教を中心とする文化の多様性とその分布について関心が高まっている。	・言語と宗教を中心とする文化の多様性とその分布の背景について考察している。	・言語および宗教が生活と結びついている様子を写した画像などを通し、文化の多様性を読み取っている。	・民族の定義を踏まえた上で、国民国家やエスニシティの意味を理解している。 ・言語および宗教の分布を理解している。	○民族についての定義を踏まえた上で、国民国家やエスニシティとの関係性について理解を深める。 ○言語と宗教を軸に、現代世界における文化の多様性について理解する。	(活動例) ・世界のさまざまな地域の言語・宗教を説明する。
第2編第4章	3 民族問題	11月	2	・世界各地で勃発している民族紛争の社会的背景について関心が高まっている。	・世界各地で勃発している個々の民族紛争の社会的背景を整理し、それぞれの民族紛争の共通点および相違点を考察している。	・世界各地で勃発している民族紛争について、さまざまな資料を収集し読み取ることで、その社会的背景を明らかにしている。	・世界各地で勃発している民族紛争の社会的背景と、民族紛争がもたらす問題点を理解し、多文化共生へ向けた取り組みに関する知識を身につけている。	○世界各地で勃発している民族紛争の社会的背景について理解を深める。 ○旧ユーゴスラビアを事例に宗教的相違によって生じた民族紛争が何をもたらしたのか理解を深める。 ○難民の発生する要因について理解した上で、難民の発生国の特性について把握する。 ○文化均質化克服の一手段としての多文化共生への取り組みについてニュージーランドを事例に理解を深める。	(活動例) ・世界のさまざまな地域の民族紛争とその社会的背景を説明する。

第2編第4章	4 現代の国家と領土問題	11月	3	<ul style="list-style-type: none"> 領土問題の発生要因を理解した上で、地球的視野に立って意欲的に解決策を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家の領域や国境の概念について考察し、さまざまな種類の国境線についてそれぞれの特性を考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界や日本の領土問題について、さまざまな資料を収集して読み取り、領土問題の背景を明らかにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家の領域や国境の概念を踏まえながら、世界各国や日本の地理的位置と領域を知るとともに、さまざまな領土問題が存在していることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国家の領域や国境の概念について具体例をあげながら理解を深める。 ○領土問題の発生要因について理解するとともに、地球的視野に立って解決策について考える。 ○日本の地理的位置と領域、日本の抱える領土問題を取り上げ、世界的な見地から日本という国を理解する。 	(活動例) ・世界のさまざまな地域の国境問題を説明する。
第3編第1章	1 地域区分の方法と意義	11月	1	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地域区分に基づいて、世界の諸地域の特色や現代世界の諸課題を意欲的に読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな指標に基づいて地域区分を行うことの意義について考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな指標に基づいて地域区分を行い、地図化している。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな指標によって地域を区分することの意義や、地域概念を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域概念についての定義を踏まえた上で、さまざまな指標によって地域を区分することの意義について理解を深める。 ○地域区分法としての等質地域と機能地域との違いについて理解を深める。 	(活動例) ・さまざまな指標に基づいて地域区分を行った地図を作成し、その地図から読み取ったことを表現する。
第3編第1章	2 地誌的な考察方法とこの教科書の事例地域	11月	1	<ul style="list-style-type: none"> これから学習する世界諸地域がどの指標で地誌的に考察できるのか関心が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地誌的な考察方法の三つについて、それぞれの方法の適切な用い方を考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の特色を明らかにする手段として、地誌的な考察方法を適切に用いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地誌的な考察方法の三つについて、それぞれの方法の適切な用い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これから学習する世界の諸地域について、地域の特色をとらえるために適切な地誌的方法を把握する。 	(活動例) ・地誌的な考察方法の三つについて、それぞれの方法を説明する。
第3編第2章	1 東アジア	11月	8	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアにおいて経済成長が進む現在の様子と、経済成長に伴うさまざまな影響について関心が高まっている。 多様な民族・文化について関心が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアにおいて急速な経済成長が起こった背景や、現在の抱えている経済格差や環境問題などの諸問題の背景を考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアの自然、歴史、経済、社会、文化に関する諸資料から、東アジアの変容および現状の特徴を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアの自然、歴史、経済、社会、文化の地域的特色や、諸課題とその対応、世界に広がる中国の影響を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画経済から改革開放路線への変化に伴い何がもたらされたのか、経済面・貿易面を中心に理解を深める。 ○改革開放政策に伴い急速に進む工業化と都市化の現状とそれによる影響について具体的事例をもとに理解を深める。 ○改革開放政策に伴いもたらされた農業・農村の近代化、産業構想の変化について理解するとともに、地域格差が拡大していることも把握する。 ○中国国内の多様な民族構成と文化的多様性について理解した上で、経済発展に伴い生活文化が変容していることを理解する。 ○経済成長に伴い深刻化する環境問題の現状について理解を深める。 ○世界に広がる中国の影響力について産業面や資源獲得競争の面から理解を深める。 ○韓国の20世紀後半以降の経済成長の変遷について歴史的背景を踏まえながら理解を深める。 ○経済成長に伴う工業化や都市化の進展とそれに伴い生じる農村部における過疎化の問題、ソウル一極集中の問題について理解を深める。 ○韓国の文化の独自性について思想、文字、衣食住を中心に理解を深める。 	(活動例) ・中国の自然、歴史、経済、社会、文化に関する諸資料から、中国の変容および現状の特徴を読み取り、表現する。
第3編第2章	2 東南アジア	12月	5	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジアの自然、文化、産業の特徴と、政治・経済面での結びつきについて関心が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジアの自然、文化、産業について、国もしくは地域ごとの共通点と相違点をそれぞれ整理して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジアの自然、文化、産業、社会の諸資料から、各国の特徴をそれぞれ読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジアの自然および文化についての知識を身につけるとともに、経済、産業、政策の現在までの変遷と、現在の政治・経済面での結びつきを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○東南アジアの概要について自然環境、言語、宗教を切り口に理解を深める。 ○川と海による諸地域間の結びつきが今日の東南アジアの地域性を形成したことを理解する。 ○東南アジアにおける商業的農業の展開とその課題について歴史的背景を踏まえながら理解を深める。 ○ASEAN 諸国の発展過程を踏まえながら諸国間が今日の協働社会を築き上げてきた経緯と多民族国家としての今後の課題について理解を深める。 ○ASEAN 諸国の開発と工業化の現状と課題についてタイとマレーシアを事例に理解を深めるとともに、ASEAN 域内における分業体制の展開についても理解を深める。 ○ASEAN 諸国における新たな前進と課題について IT、華人問題、都市農村格差を事例に理解を深める。 	(活動例) ・東南アジアの任意の国について、自然、文化、産業の特徴を説明する。

第3編第2章	3 南アジア	12月	4	・インドの経済発展を軸として、産業の変化、農村の変化、社会の変化に関心が高まっている。	・インドの経済発展の背景にある政策や産業開発、工業化の進展について整理し、その結果生じたメリットとデメリットについて因果関係を明らかにしながら表現している。	・南アジアの自然、産業、文化の諸資料から、各地域の多様性をそれぞれ読み取るとともに、経済発展の様子を示す諸資料を収集している。	・インドの経済発展の様相を理解するとともに、これと並行して起こっている産業の変化、農村の変化、社会の変化に関する知識を身につけている。	○インドの経済自由化や産業開発、工業化の進展と国土構造の変化についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから理解を深める。 ○インドにおける高い人口増加率の背景・要因と社会にもたらす影響について理解を深める。 ○インドの農業の変化について緑の革命をはじめとする技術改革との関わりから理解を深める。 ○農村社会の変化について都市化の進展との関わりから理解を深める。 ○経済成長や都市化に伴う社会の変化についてメリットとデメリットに区分しながら理解を深める。 ○南アジアの多様性について自然と文化を指標に理解を深めるとともに、地域協力の現況について理解を深める。	(活動例) ・グローバル化に伴うインドの経済発展の背景について、インド世界の特性と関連づけながら説明する。
第3編第2章	4 西アジアと中央アジア	1月	3	・西アジアと中央アジアの自然、歴史、文化、産業の特徴、民族について関心が高まっている。	・西アジアと中央アジアの自然、文化、産業の共通点を整理しながら、民族、宗教、言語の相違点を考察し、問題点を明らかにしている。	・西アジアと中央アジアの自然、歴史、文化、産業の特徴、民族の諸資料から、各国の特徴をそれぞれ読み取っている。	・西アジアと中央アジアの今日的な課題について自然環境や歴史的背景を踏まえながら理解するとともに、西アジアと中央アジアの共通点と相違点についての知識を身につけ、石油資源や民族対立に関する問題点を理解している。	○西アジアと中央アジアの人々の生活の共通点と相違点について自然環境や歴史的背景を踏まえながら理解を深める。 ○西アジアと中央アジアの民族・文化の共通点と相違点について宗教、言語を指標に理解を深める。 ○西アジアと中央アジアの産業の共通点と相違点について天然資源を指標に理解を深める。	(活動例) ・統計を用いて西アジアと中央アジアの産業の共通点と相違点について天然資源を指標に考察する。
第3編第2章	5 北アフリカとサハラ以南アフリカ	1月	3	・北アフリカとサハラ以南アフリカの自然、歴史、文化、産業の特徴、民族について関心が高まっている。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの産業の共通点、経済・社会問題、民族問題の現状とその克服に向けた取り組みを考察している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの自然、生業、文化、歴史、産業に関する諸資料から、各国の特徴や問題点をそれぞれ読み取っている。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの自然環境や文化の特色および成り立ちを知り、経済構造の特徴や民族対立の問題点と結びつけて理解している。	○北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について自然環境、歴史、生業、文化を指標に理解を深める。 ○北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国の産業や都市に関する共通点と相違点について理解を深める。 ○北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における政治状況や他地域との結びつきについて理解を深める。	(活動例) ・写真や主題図を用いて北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国の産業や都市に関する共通点と相違点について考察する。
第3編第2章	6 ヨーロッパ	1月	4	・EUの統合の歴史とともに、民族・宗教の多様性、各国の産業の特徴、EUが抱える諸課題に関心が高まっている。	・さまざまな面で統合が進むEUの共通点を整理するとともに、EU内部の地域差にも着目し、その社会的背景を考察している。	・EUの自然、民族、歴史、産業、経済、国際関係に関する諸資料から、EUの現状の特徴および各国の多様性を読み取っている。	・統合と拡大が進むEUの自然、民族、歴史、産業、経済、国際関係をEU全体の視点と国ごとの視点の両方から理解している。	○EU統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解を深めるとともに、統合へ向けての歴史の変遷について理解を深める。 ○EUにおける産業の変化について農業と工業を指標に理解を深めるとともに、新たな産業地域形成を目指す動きについても理解を深める。 ○EUにおける都市間競争と大都市の再編について市場統合、通貨統合との関わりから理解を深める。 ○EUが抱える諸課題として地域格差と環境問題を取り上げ、その克服へ向けた取り組みと国家間の協力関係について理解を深める。 ○冷戦終結後のEUの東方拡大の現状と課題について理解を深めるとともに、欧州以外の地域との関係についても貿易面を中心に理解を深める。	(活動例) ・EUの任意の国について、自然、文化、産業の特徴を説明する。
第3編第2章	7 ロシア	1月	3	・ロシアとその周辺諸国の自然と民族の多様性および経済、社会、産業の特徴に関心が高まっている。	・ロシアとその周辺諸国の経済・社会や人口、人々の生活の変化を、市場経済への移行と関連づけて考察している。	・ロシアとその周辺諸国の自然、民族、産業、経済に関する諸資料から、現状の特徴および多様性を読み取っている。	・ロシアとその周辺諸国の自然と民族の多様性および経済、社会、産業の特徴を理解し、ロシアにおける市場経済への移行に伴う変化と、経済構造の特徴とその問題点についての知識を身につけている。	○ロシアと周辺諸国の地域的多様性について地形、気候、民族を指標に理解を深める。 ○ロシアにおける市場経済への移行に伴い経済・社会や人口、人々の生活がどのように変化したのか理解を深める。 ○ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴について多面的・多角的に理解を深めるとともに、近年の産業地域の変化とそれに伴い生じる課題についても理解を深める。	(活動例) ・ロシアの経済構造の特徴とその問題点について説明する。
第3編第2章	8 アングロアメリカ	2月	5	・アングロアメリカの自然、農業、歴史、民族、工業、社会について関心が高まっている。	・アングロアメリカをさまざまな指標で地域区分して、それぞれの地域の自然、農業、歴史、民族、工業、社会の特徴を他の地域と比較しながら表現している。	・アングロアメリカの諸地域について、それぞれの地域の自然、農業、歴史、民族、工業、社会の特徴を諸資料から読み取っている。	・アングロアメリカの自然環境と農業地帯との関係、経済、工業、民族、社会の現在に至る過程を理解している。	○アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解を深める。 ○アングロアメリカの特色である多民族多文化社会の形成過程について歴史的背景を踏まえながら理解を深める。 ○アングロアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について科学技術、鉱産資源、金融の側面から理解を深めるとともに、置かれている課題についても理解を深める。 ○アングロアメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから理解を深める。 ○アメリカにおける情報社会への移行に伴う大都市圏の拡大と地域分化の現状と課題について理解を深める。	(活動例) ・アングロアメリカの任意の地域について、自然、文化、産業、社会の特徴を説明する。

第3編第2章	9 ラテンアメリカ	2月	3	・ラテンアメリカの自然環境について関心が高まるとともに、文化や民族の分布および産業・経済の特徴を歴史と関連づけて捉えようとしている。	・ラテンアメリカの自然、文化、民族、産業について、国もしくは地域ごとの共通点と相違点をそれぞれ整理して表現している。	・ラテンアメリカの自然、文化、民族、産業、経済について、国もしくは地域ごとの共通点と相違点をそれぞれ諸資料から読み取っている。	・ラテンアメリカの自然環境や、経済発展およびグローバル化に伴う影響と諸課題に関する知識を身につけるとともに、文化および民族の分布や産業と経済の特徴について歴史的背景を踏まえながら理解している。	○ラテンアメリカ諸国における自然環境と歴史・文化の特徴について歴史的背景を踏まえながら理解を深める。 ○ラテンアメリカ諸国の産業と経済構造の特徴について歴史的背景を踏まえながら理解を深める。 ○グローバル化によるラテンアメリカにおける地域統合の進展の現状と課題について多面的・多角的に理解を深める。 ○ブラジルを事例に地域開発や都市化の進展によって生じる諸課題について多面的・多角的に理解を深める。 ○移民社会としてのラテンアメリカ諸国の特徴について理解を深めるとともに、グローバル化の進展に伴い増大している海外への出稼ぎ移民の現状について多面的・多角的に理解を深める。	(活動例) ・ラテンアメリカの文化、民族、産業、経済について、歴史的背景と結びつけながら説明する。
第3編第2章	10 オセアニア	2月	3	・オーストラリア・ニュージーランドと他地域との経済的な結びつきについて貿易と観光に関心が高まっている。	・貿易と観光に関する統計を用いてオーストラリア・ニュージーランドと他地域との経済的な結びつきについて考察している。	・統計、写真をもとに、オーストラリア経済やニュージーランド経済における鉱産資源や農業の重要性について読み取っている。	・オーストラリアとニュージーランドの多文化社会がどのように形成されてきたのか、先住民、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから理解している。	○オーストラリアとニュージーランドの多文化社会がどのように形成されてきたのか、先住民、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから理解を深める。 ○オーストラリアとニュージーランドの自然環境の特性とそれをもとに成立している農牧業の地域的分布の特徴について理解を深める。 ○オーストラリア経済やニュージーランド経済における鉱産資源や農業の重要性について理解を深める。 ○オーストラリアの都市の分布とその歴史的な発達過程について理解を深める。 ○オーストラリア・ニュージーランドと他地域との経済的な結びつきについて貿易と観光に着目して理解を深める。	(活動例) ・写真と統計を用いてオーストラリアの鉱産資源と都市の分布について説明する。
第3編第3章	1 日本が直面する地理的諸課題	3月	1	・地理的諸課題に対する調査を意欲的に実践しようとしている。	・地理的諸課題に対する調査方法について、個々の調査の位置づけを考察した上で調査を実践し、調査のまとめを分かりやすく表現している。	・調査の内容にしたがって、地形図、写真・画像、インターネットなどを適切に使用している。	・地理的諸課題に対する調査方法について理解している。	○日本における地理的課題を見いだすために戦後の国土構造の歴史の変遷や自然災害への備えについて理解を深める。	(活動例) ・調査の結果を発表する。
第3編第3章	2 日本が抱える地理的諸課題を探究する	3月	1	・日本が抱える地理的諸課題の解決に向けた調査姿勢が意欲的になっている。	・日本が抱える地理的諸課題の背景を考察し、仮説の設定と検証を経て、諸課題の解決の方向性や将来の展望を的確に表現している。	・地理的諸課題の調査の流れのなかで、その目的にしたがって、日本に関する諸資料を適切に収集し、読み取っている。	・日本の地理的諸課題に関する知識を身につけ、その背景を理解している。	○地理的諸課題の具体例について示した上で、その一連の調査方法について理解を深める。	(活動例) ・地理的諸課題の調査に関して、グループ内で討議するとともに、グループ外に向けて発表する。
定期テスト	1学期中間 1学期期末 2学期中間 2学期期末 3学期期末	5月 7月 10月 12月 3月			(例)主として思考・判断の観点から25%の配分で出題	(例)主として資料から読み取れる事柄に関して25%の配分で出題	(例)主として知識・理解の観点から50%の配分で出題		